

# 東京都立葛西工業高等学校 令和4年度 建築科 建築実習 年間授業計画

教 科：工業科 科 目：建築実習 単位数：3単位  
 対象学年組：第2学年4組～5組  
 教科担当者：（4組：東・佐藤・岩崎）（5組：宮田・松原・落合）  
 使用教科書：（実教出版「建築計画」）

	指導内容	科目「建築実習」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
1 学 期	<p>○計画Ⅰ（集合住宅の間取り模型製作）</p> <p>○施工Ⅰ（枠組足場組立て・解体および左官）</p>	<p>○模型の政策を通じて、建築物の形態や大きさを考え、空間をデザインする能力を習得する。</p> <p>○模型を製作するための道具について、正しい利用方法や安全な利用方法について理解する。</p> <p>○左官道具の使い方や壁の作り方などの基本を習得する。</p>	<p>○安全に作業を行っている、また、適切な作業手順で実習を行っている</p> <p>○各実習における内容について、理解している。</p> <p>□実習態度やレポート、作業日報、作品などを用いて、総合的に評価を行う。</p>	30
2 学 期	<p>○材料Ⅰ（骨材ふるい分け試験、モルタル供試体製作、セメント強さ試験、コンクリート調合設計）</p> <p>○計画Ⅱ（立体表現技法について）</p> <p>○施工Ⅱ（鉄筋組立て、型枠組立て・解体）</p>	<p>○セメントの強さ試験を行い、その結果が規格に合格するか判定し、試験方法について習得する。</p> <p>○砂利や砂などの骨材について、ふるい分け試験を行い、コンクリートを打設するのに適した粒度分布をしているか判定し、その試験方法について習得する。</p> <p>○強度・スランプなど与えられた条件を満たすコンクリートの調合設計を行い、コンクリートの調合設計方法を習得する。</p> <p>○透視図法の基礎的な知識・技法について理解する。</p> <p>○建築物の内観を立体的に描くことで室内のイメージを把握させる。</p> <p>○鉄筋の組み立て順序や組み立て方法などについて、習得する。</p> <p>○型枠工事の組み立て手順を立体的に学習するとともに、解体方法についても学習する。</p>	<p>○安全に作業を行っている、また、適切な作業手順で実習を行っている</p> <p>○各実習における内容について、理解している。</p> <p>□実習態度やレポート、作業日報などを用いて、総合的に評価を行う。</p>	40
3 学 期	<p>○材料Ⅱ（コンクリート供試体製作、コンクリート圧縮試験、鉄筋引張試験、木材圧縮試験）</p>	<p>○コンクリートの圧縮強度試験を行い、設計通りの圧縮強度であるかを調べて、その試験方法を習得する。</p> <p>○鉄筋の引張試験を通して、鉄筋コンクリート構造用として鉄筋の適否を判定し、その試験方法を習得する。</p> <p>○木材の圧縮試験を行い、木材の特徴を理解するとともに、木材の利用方法について習得する。</p>	<p>○安全に作業を行っている、また、適切な作業手順で実習を行っている</p> <p>○各実習における内容について、理解している。</p> <p>□実習態度やレポート、作業日報などを用いて、総合的に評価を行う。</p>	35